



長老の智慧  
李登輝

李登輝

その3【全5回】

複雑な国際政治の渦中にいた老練な指導者は、アジアでの米中覇権競争を予見する。日本は今こそ自信を持って国際舞台で存在感を示してほしいと、期待の言葉を投げかける。

な国——それはベネズエラから北朝鮮まで——が、より侵略的な行動に出ることが予想されます。

東アジアでは米国の影響力が一時低下している間に、中国がその勢力を増してくるでしょう。だが、そうはいっても米国には世界一の軍事力があります。ブッシュ後の新大統領が体勢を立て直し、新たな政治周期に入り影響力を取り戻したとき、東アジアでは中国との激しい権力競争が繰り広げられることになる。東アジアは米中の太平洋争奪時代に突入するということです。

私の総統時代、台湾を威嚇するため中国は1995年と96年にミサイルを発射しました。中国は今も800発のミサイルを台湾に向けています。しかし、今後、簡単に撃つかといえはそれはない。国家指導者が江沢民から胡錦濤に替わっていますし、撃つたら大変なことになることは彼らもよく知っています。

私は日本にはもっと主体的に行動し、東アジアの政治を主導する国になつてほしいと考えています。軍国主義は問題外ですが、東アジアの安全保障にもっと関与してよいでしょう。

日本は経済では長い不況を克服しました。経済協力でも日本の役割は大きなものがあります。いろいろな分野でもっと自信を持ち、堂々と行動に移すことを期待しています。

## アジアでは米中の覇権争い 日本は自信を持って行動を

**台** 湾にとって、アメリカは重要な友好国です。正式な国

交はありませんが、米国には「台湾関係法」という法律があつて、台湾の現状維持と安全保障に關与することを定めています。つまり、もし台湾海峡に何かが起こった場合には、米国は台湾を守る事になっているのです。

ただし現在の米国はイラク、イラ

ンをはじめとする中東問題に縛られてしまつており、東アジアでは何もできない状態になっています。

ロシアにとってそれは好ましいことです。大胆なことをいえば、ロシアは中東で反米的な動きに關与しているかもしれない。米国が中東問題から抜け出ることができない状態は、中国と並んで将来の世界のリーダーになりたいロシアにとって好都合

合です。

米議会では民主党が優勢になっており、ブッシュ大統領が指導力を発揮しにくくなつています。加えて任期切れを控えており、一層、不利な立場にあります。米国が外交の失敗から立ち直るのは、選挙後の2009年以降ということになるでしょう。こうした米国の影響力低下に乗じて、強権政治の国で米国に挑戦的